



しぱれっと

Palette



8

2021 August
vol.252

特集 第21回通常総代会報告

農を担う
タマネギ・米麦・カボチャ農家 竹林 秀敏 さん
藤田地区……………10ページ

今月の折り込み 令和3年度 一般果樹苗木・玉ねぎ苗注文書 ほか



各議案を審議する総代

第21回通常総代会 全議案を可決承認

当JAは6月29日、本所7階ホールで第21回通常総代会を開催しました。総代数485人のうち、471名(本人出席11名、代理人出席0名、書面出席460名)の出席がありました。

総代会では「令和2年度事業報告及び剰余金処分案の承認」、「令和3年度事業計画の設定」、「定款の一部変更」、「信用事業規程の一部変更」、「経済規程の一部変更」、「経営管理委員、理事、監事の報酬の決定」の全6議案が審議され、全て原案通り承認されました。次ページからは令和2年度事業報告の要約、主な事業の活動内容と取組結果についてご報告します。



あいさつをする宮武博経営管理委員会会長



議長の野上紀一総代

令和2年度事業報告／要約版

主な事業の活動内容と取組結果についてご報告させていただきます。

令和2年度は自己改革の基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現にむけて、ご承認いただいた事業計画に基づき各事業に取り組みました。

その結果、新型コロナウイルスの感染症拡大による自粛要請や経済活動の制約で一部の事業に影響を受けたものの、事業利益・経常利益ともに計画に対して上回る結果となりました。

また、事業基盤の強化を図るため、組合利用者や地域住民に対し、准組合員加入を推進しました。

損益計算書 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

単位:千円

科目	金額	科目	金額
事業総利益	7,819,707	事業外収益	734,582
信用事業総利益	3,823,043	事業外費用	163,985
共済事業総利益	2,345,454	経常利益	864,459
購買事業総利益	523,005	特別利益	37,253
販売事業総利益	465,259	特別損失	184,217
保管事業総利益	76,308	税引前当期利益	717,495
利用事業総利益	494,025	法人税等合計	69,196
宅地等供給事業総利益	103,513	当期剰余金	648,299
旅行事業総利益	2,093	当期首繰越剰余金	523,849
福祉事業総損失	60	過去の誤謬の訂正による累積的影響額	△71,142
農用地利用調整事業総利益	4,055	遡及処理後当期首繰越剰余金	452,707
指導事業収支差額	△16,990	リスク管理対応積立金目的取崩額	131,042
事業管理費	7,525,844	営農振興対策積立金目的取崩額	14,757
人件費	5,009,396	土地再評価差額金取崩額	55,188
業務費	856,803	当期末処分剰余金	1,301,994
諸税負担金	261,067		
施設費	1,324,867		
その他事業管理費	73,710		
事業利益	293,863		

剰余金処分

単位:千円

科目	金額
1.当期末処分剰余金	1,301,994
2.剰余金処分額	843,993
(1)利益準備金	200,000
(2)任意積立金	446,537
(うちリスク管理対応積立金)	373,290
(うち施設整備強化積立金)	30,000
(うち指導事業強化積立金)	10,000
(うち営農振興対策積立金)	14,757
(うち電算情報システム開発積立金)	10,000
(うち宅地等供給事業積立金)	8,491
(3)出資配当金	197,456
3.次期繰越剰余金	458,000

(注)

- 出資配当は年2.0%の割合です。ただし、出資配当の対象は当組法定款第76条第4項の規定によります。
- 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用(いわゆる教育情報繰越金)に充てるための繰越額33,000千円が含まれています。
- 損益計算書および剰余金処分の記載金額は、千円未満を四捨五入して表示しています。そのため、内訳金額を合計した金額が合計欄記載の金額と一致しない場合があります。

指導事業

【営農活動】

営農指導機能の強化・充実に
図るとともに、農畜産物の生産振
興・意欲ある担い手経営体の育
成・支援による産地の維持・発
展に取り組みました。

① 営農指導

本所・営農センター間の営農活
動にかかる情報共有と連携を図る
とともに、「担い手農家」等への訪
問活動強化、土壌診断による適
正な土づくり指導・ドローンによ
る水稻の葉色診断と追肥による増
収効果の実証試験などに取り組
みました。

② 農畜産物の生産振興

主要品種である「アケボノ」「ヒ
ノヒカリ」等について、低コスト
生産の確立にむけた肥料試験、
ビール大麦「サチホゴールデン」
への品種転換にむけた採種圃の
確保、野菜・果樹・花き等の作
付推進や作付拡大に取り組みま
した。

③ 育成・支援・産地拡充

「営農振興支援事業」の活用や
農業経営管理の支援、「就農ト
タルサポート事業」等への取り組
み、もも農業塾・ぶどう農業塾
をはじめとする各種栽培講習会に
よる農業生産基盤の底辺拡大、
1日農業バイトアプリを活用した
農作業支援を行いました。

【生活活動】

「豊かで暮らしやすい地域社会
の実現」を目指して、女性部組織
等と連携しながら、生活文化活
動や食農教育・健診等に取り組
みました。

【相談活動】

税理士による税務相談会や所
得税および消費税の確定申告支
援を実施するなど、JA岡山青色
申告会を基軸とした税務相談活
動に取り組みました。

【広報活動】

広報誌「ぱれっと」、「あぐるぐ
OKAYAMA」、「笑味ちゃん天
気予報」、ホームページ等への情
報掲載など、さまざまな方法で

購買事業

15kg袋のプライベート肥料お
よび大型規格農薬や省力型資材
等の普及推進を行い、生産コスト
低減に努めるとともに、予約購
買を基軸とした安定供給に取り
組みました。

また、広報誌「ぱれっと」を活
用した力タログシヨッピングを開
始しました。また、住宅リフォーム・
ム・シロアリ防除・電化製品・
美術品・石碑など、皆さまの生
活がより豊かになる提案を行
いました。

販売事業

生産から販売までをキーワード
に安全・安心な農産物の安定供
給体制確立を基本とし、農産物
の販路拡大・市場の集約等に努
めるとともに、加工品の販売や各
種PR活動、農業者の所得増大
に取り組みました。

保管事業

準低温・低温倉庫に集約保管
を行い、倉庫の効率的な運用と適
正な保管管理に努めました。

利用事業

【大型共同乾燥調製施設】

施設の効率的な運営を目指し、
生粉移送等による完全サテライト
化を4施設で実施しました。

【共同利用施設】

育苗施設の有効活用として、
水稻苗・野菜苗の生産供給を行
いました。

【農産物加工施設】

大豆テンペ・味噌・米粉パン・
惣菜等、地元の農産物を生か
した農産加工を行うとともに、
「HACCP(ハサップ)」導入によ
る製造工程の管理と、食中毒等の
事故防止の意識を高めるため研修
会を開催しました。

宅地等供給事業

農地等売買の仲介や組合員の

JA事業や農業・生活文化活動へ
の取り組みについて情報発信に努
めました。

信用事業

地域の皆さまに選ばれる金融機
関として、多様化するニーズに対
応すべく、ライフプランサポート
の実践を通じた組合員・利用者
接点の再構築に取り組み、お客
様満足度を高める事業活動を行
いました。

【サービスの強化】

組合員・利用者の皆さまへのラ
イフプランに合わせた相談提案活
動に取り組み、年金相談会、ロー
ン相談会、相続セミナーを開催し
ました。

【個人貯金・貸出金の増強】

ライフイベントに合わせた提案
活動に加え、年金振込シニア向上
世代別の資金ニーズに応じた商品
提供と個人ローンの伸長に取り組
みました。

【農業資金への対応】

支所と営農センターが連携し、
資産活用としての賃貸住宅・店
舗の建設等の斡旋に取り組みま
した。

旅行事業

新型コロナウイルス感染症防止
対策など、安全・安心に配慮し
た旅行サービスの提供を行いま
した。

高齢者福祉事業

助け合いの会「かがやき」協力
会員により、ミニデイサービスサ
ロン・地域の茶の間「みんなのお
家」を開催し、生きがいと交流の
場の提供に取り組みました。

農用地利用

調整事業

耕作放棄地の発生防止ならびに
担い手への農地集積促進のため、
岡山県農地中間管理機構等との
連携を図りながら「農地利用集積
円滑化事業」や「農作業受委託事
業」に取り組みました。

農業資金需要に対して各種制度
資金・担い手対象資金によりの
確な資金対応に取り組みました。

共済事業

組合員・利用者の皆さまに「安
心と満足」をお届けするため、「契
約者フォロー活動」を基軸とした
活動に取り組みました。

【相談・普及活動】

「3Q訪問・3Q」ール活動」に
よる加入内容説明・「あんしん
チエック」による保障点検を実施
し、ニーズに沿った保障提案に努
めました。

【審査・査定・保全業務】

新契約引受、共済金の支払処
理の迅速化・適正化に努め、契
約管理に取り組みました。

【広報活動】

「書道・交通安全ポスターコン
クール」、「交通安全機器寄贈」
等を実施し、組合員・利用者の
皆さまとのふれあいを通じて、J
A共済のイメージアップを取りま
した。

管理・経営等

不祥事再発防止、組合業務の適
正性を確保するため内部統制の整
備を進め、法令等遵守態勢、内部
けん制体制、内部監査体制の実効
性向上および強化を図りました。

また、施設の効率的な運用に努
め、支所の改修工事、倉庫の整備工
事等、組合所有施設の整備を行
いました。



本記事では概略をご報告させて
いただきました。詳細については、
各支所・営農センターへ備え置い
ております【通常総代会資料】お
よび【ディスクロージャー誌】また
は、JA岡山ホームページにて公開
しております【ディスクロージャー
資料】をご確認ください。



地域に愛される生産者を目指し、 高品質な農産物をつくりたい

藤田地区：タマネギ・米麦・カボチャ農家

竹林 秀敏さん

「たけばやし ひでとし」

昭和60年生まれ。㊟藤田たまねぎ部会部会長。株式会社丸秀ファーム代表取締役。タマネギ・米麦・カボチャを栽培。2人家族。趣味は野菜づくり。座右の銘は「とにかくやってみる」。



―農業を始めてからは

タマネギの需要が高かったことや、「藤田たまねぎ」としてブランド化されていたこともあり栽培を始めました。

2019年に株式会社丸秀ファームとして法人化し、社訓に「地域に愛される」を掲げています。農福連携や食農教育に力を入れており、就労継続支援の研修先として、障がい者等の受け入れや地域の児童養護施設や小学校に田植えや稲刈りの農作業体験を指導しています。

最近では、作業中に声をかけていただく機会も増え、地域に愛される存在に少しずつなれてきたのかなと思いがたく感じています。

―楽しいことは

収穫作業が楽しいです。収量が多く、品質のよい時はうれしいです。消費者の方からの「おいしい」の一言を聞くとやりがいを感じます。

―農業の魅力は

農業の魅力は、自分で自由に決められるので、ストレスなく働けることです。新たな挑戦も失敗も自分の責任なので全て経験になります。よいものをつくるための糧になります。

SNSで安全・安心な食についてや農業の魅力を発信していき、若い世代の仲間づくりにつなげていきたいです。

100点の農産物を 目指す

―今後の抱負は

これからは、さらなる品質向上と作業の効率化を目指しています。今の出来は60点くらいですが、100点の農産物を安定して生産していきたいです。就農してから10年が経ち、安定した栽培のコツもつかめてきました。これからも、いろいろなことにチャレンジし、試行錯誤しながらよい物をつくれるよう頑張ります。



農業について思いを語る竹林さん

地域に愛される存在 になりたい

7月1日、藤田地区の竹林秀敏さんにお話を伺いました。

―就農したきっかけは

学生のころから米農家の親戚の家で手伝いをし、機械に乗るのが好きでした。食品会社に勤めていましたが、食の安全に対するニュースが話題になり、自分で安全・安心な農作物をつくりたいという思いが強くなり、11年前に就農しました。



選別作業の様子



自慢のタマネギをPRする竹林さん

野菜

コールラビは幅広い用途があります



営農部指導課 宮本 大輔

●コールラビの栽培

コールラビは、キャベツの仲間ですが球形に肥大したためずらしい形が別名カブカンランともいわれます。肥大した部分を食し、ブロッコリーの茎に似たくせのない味で、食感もよく甘みがあります。浅漬け・油炒め・スープ・サラダなど幅広い用途があります。

品種はグランドデューク等で少し変わった野菜に挑戦してみたいかご紹介します。

●播種

播種適期は幅が広く3月から9月まで可能でキャベツよりも高温や低温に強いです。移植栽培の播種は育苗トレイ128穴やト口箱で栽培をします。育苗トレイの場合は、育苗培土「与作」等を用いて育苗トレイに入

れ軽く2回程度たたき、培土を落着かせながら一杯詰め、その後灌水を十分に行います(トレイの下からポタポタ落ちる程度)。種子が入る穴を3ミリ程度指で押さえてから1穴に1粒播種して、3ミリ程度覆土します。軽く灌水を行い新聞紙で覆って乾燥を防ぎます。

●育苗

風通しのよい日陰に置き、2日後にトレイ全体の半分程度の出芽が確認できたら新聞紙を取り除きます。その後は、日の当たるところに出して寒冷紗で覆い、パイプ等を使って地面から浮かせて栽培します。灌水は午前中に行い、夕方には表面がやや乾く程度に灌水を行います。曇りや雨の日には乾いた部分だけ灌水します。

●畑の準備

植え付け2週間前に10平方メートルあたり堆肥25kg、苦土石灰等1kg、野菜いちばん等を1.2kgほどよく混ぜます。畝幅は2条植えで80〜90cmとします。

●畑に直接播種する場合

畝面にくわで軽く溝をつけ種子を1株間15〜20cm間隔で点播し、3cm程度覆土を行います。本葉2〜3枚と5〜6枚のころに間引きをします。

●植え付け

本葉が4枚のころ(苗が手で軽く

引っ張ると根鉢ごと抜けるころ)に移植します。定植後に1〜2回灌水を行い活着を促進します。

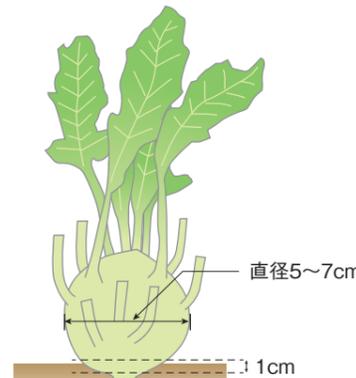
●追肥・管理

基肥のみで栽培しますが、生育の状況を見て灌水を兼ねて液肥500倍液を散布します。除草を兼ねて畝の表面を軽く中耕(通気性をよくする目的で浅く耕す作業)をしましょう。

●灌水

乾燥が激しいときは、灌水を行い生育を促進します。

資料2 収穫



球の下部1cmくらいはかたいので切除する

資料1 葉の切り取り



葉は上部を5〜6枚残し、下部は葉柄を3cm程度残し切り取る

●収穫

球の肥大途中であらかじめ上部の葉5〜6枚を残し、下部の葉は葉柄を3cm程度残して切り取り肥大を促進します(資料1)。球の直径が5〜7cmくらいのときに株元から引き抜いて収穫します(資料2)。球の直径が8〜10cm以上になると収穫遅れで、木質化して固くなります。

花き

グランドカバープランツをご紹介します



営農部指導課 中川 雄一

●グランドカバープランツの利用

広い庭などの空きスペースの除草は大変です。丈夫で美しいグリーンなグランドカバープランツを植えて管理すると、省力的で見た目もよく演出することができます。

●グランドカバー利用の注意点

植える場所と種類を選びましょう。丈夫で手がかららないという点とは、一旦植えると取り去ることが難しいものも多いということです。むしろ、不要になったら簡単に撤去できるものの方が少ないと考えましょう。大切な他の花を覆いつくしたり、隣地に侵入していったり(種が飛んでいくことも)しないよう注意しましょう。栽培中の除草もいくらが必要で

●注意が必要な花の例

・ミント・繁殖力が強く、地下茎が幾重にも重なるほどになります。
・ワイヤープランツ・気づいたらかなり高いところまで這い登って花木などを傷めることもあります。
・ヒメツルソバ・かわいい花を付けますが、よく広がり、種も落ち

て、取っても取ってもどこかに生えています。

●カタバミ(オキザリス)・かわい

い花が人気ですが、地中にたくさん木子を付け、これが繁殖元になるので、全て取り去ることはとても困難です。

●便利な花の例

・ヒメイワダレソウ(姫岩垂草)

ペルー原産の丈夫な草で、地を這うように広がり、やせ地でも旺盛に繁殖します。資料3のようにレンガの隙間などでもよく広がり、背丈も低く、踏まれることにも比較的よく耐えます。この強さは、根を深く張ること、ほとんど病害虫の心配がないことによると思われま

す。そして極々小さなアジサイのような花を付けます。多くの花の苗は、高温期、低温乾燥期を避けて春や秋に植え付けますが、この花は、活着までの水切れに注意すれば4〜10月まで植え付け可能です。

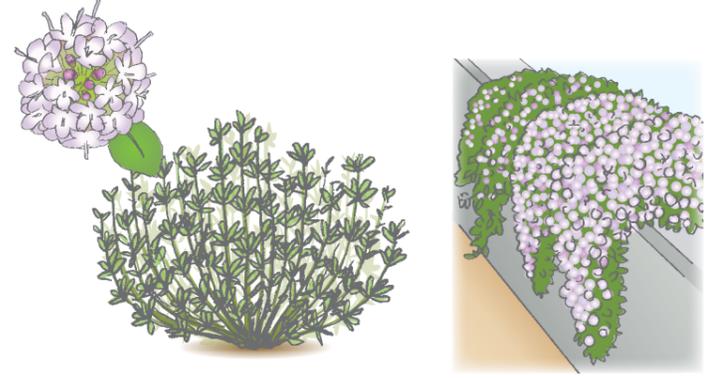
活着したら、肥料もあまり必要としませんが、水やりもよほど乾燥した場合くらいです。むしろ過剰灌水で根腐れさせないようにしましょう。株分けでたやすく増やせます。せん定(刈り込み)しましょう。放置しているといつの間にか大きくはびこっています。あらかじめ広げる範囲を想定しておいて、早めに刈り込みましょう。丈夫で便利ですが、管理しないと繁殖しすぎて困ることもある相手だと思っておきましょう。

・クリーピングタイム

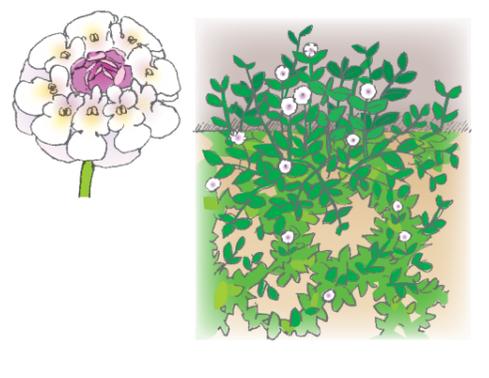
ハーブとしてよく利用されるタイム、一般には木立性で、甘く爽やかな香りが特徴です。

球の肥大途中であらかじめ上部の葉5〜6枚を残し、下部の葉は葉柄を3cm程度残して切り取り肥大を促進します(資料1)。球の直径が5〜7cmくらいのときに株元から引き抜いて収穫します(資料2)。球の直径が8〜10cm以上になると収穫遅れで、木質化して固くなります。

資料4 タイム(立ち性、ほふく性)と花



資料3 ヒメイワダレソウの花と植栽例



果樹

果実の収穫後の管理に気をつけましょう



営農部指導課 武田 祐一

8月は桃やブドウ、梨、イチジク、ブルーベリー等の夏果実の収穫時期になります。これまで愛情を注いで育てた果実がようやく成熟します。一方で、樹は来年にむけて養分を貯蔵する時期へと移り変わっていきま

すので、収穫後の管理にも気を付けていきましよう。また、秋果実は最後の追い込みとなりますので、気を抜くことなく栽培管理し、収穫期を迎えましよう。

●ブドウの管理

●**収穫後の枝管理と礼肥**
ピオーネ等トンネル雨よけ栽培では、県南部は8月下旬ごろ〜9月にかけて収穫されますが、べと病やさび病が多発すると葉が傷んで落果し、果実品質の低下や貯蔵養分の減少が問題となります。
ICボルドー66D 50倍液にスミチオン水和剤1,000倍液を混和して散布すると、べと

病とブドウトラカミキリの同時防除ができます。ICボルドーの代わりにレーバスフロアブル2,000倍液も効果的です。収穫後に礼肥と元肥を兼ねて岡山ピオーネ専用肥料057を1本あたり2〜3kgを施肥すると省力的です。
県中北部では、収穫中であつても地温の下がっていない9月中に施肥するのが効果的です。

●桃の管理

●**収穫後の管理**

清水白桃の収穫時期は8月上旬には終了し一段落しますが、モモハモグリガやせん孔細菌病等の被害を受けると落葉し、枝の充実が悪くなります。礼肥を行い秋根の伸長を促進するとともに、収穫後(防除暦を参照)の防除を行いましよう。礼肥は高酸化成NN604を1本あたり1kg施用し灌水したり、収穫後の防除に尿素の300倍液を加用して散布して樹勢回復を図ります。徒長枝が混み合うようであれば、基部を10%程度残し、切り取ります。

●柿の管理

●**病害虫防除**

カキノヘタムシガは、平年であれば6月と8月の年2回発生します。昨年度と同様に1回目(6月)

の害虫の発生が早かったため、2回目(8月)の発生も早いと予想されます。そのため、7月末〜8月上旬にかけて防除を徹底しましよう。防除薬剤としては、スミチオン乳剤1,000倍液にトツブジンM水和剤1,500倍液を加用して散布すると、炭そ病・うどん粉病の同時防除をすることができます。

●梨の管理

●**晩生品種の水管理**

梅雨明け後は天候が一転して、降雨が少なくなり高温乾燥が続く日が増えてきます。愛宕梨や新高梨などの晩生品種は、高温乾燥や土壌水分の不足などから煮え果等の高温障害や果肉障害、玉太りが悪くなるので、晴天日が7日以上続く場合は適宜灌水をたつぷり行います。

●カンキツ類の管理

●**仕上げ摘果**

8月の中旬から仕上げ摘果をします。収穫の早い早生種は早めに済ませます。

温州ミカンでは、果実が大きくなりすぎると糖度が上昇しにくくなり、小さすぎると糖度は上昇しやすくなりますが商品価値が低下します。傷果や変形果・極端な大玉果・小玉果を摘果し25〜30葉に1果とします。隔年

結果を防ぐためにも、着果過多となっている樹はしっかり摘果しましよう(資料5)。

資料5 温州ミカンの摘果基準(葉果比)

系 統	強 い 枝	普 通 の 枝	弱 い 枝
早 生	15~18	25~30	30~40
普 通	13~15	20~25	30~35
青 島	—	30~35	35

丸太寿司



材料 (20個分)

- 米……………3合
- 酒……………大さじ1
- 昆布……………10cm角
- <合わせ酢>
- 酢……………大さじ4
- 砂糖……………大さじ4
- 塩……………小さじ1と1/2
- 炒りごま……………適量
- ★ままかりの酢漬け……………20尾
(ままかりの酢漬けレシピを参照)
- しょうが……………適量
- わさび……………適量
- <飾り>
- レモン、紅しょうがなど…各適量

作り方

【準備】

- ◆ままかりの酢漬けを2日ほど前から作っておく。
(ままかりの酢漬けレシピを参照)
- ◆しょうがの酢漬けを作る。ままかりを漬け込んだ合わせ酢を適量取り分け、しょうがの薄切りを漬けておく。

- ①お米は酒、昆布を入れ、普通より少なめの水で炊く。
- ②酢、砂糖、塩を混ぜ合わせて合わせ酢を作る。
- ③ご飯が炊きあがったら昆布をとり、合わせ酢を全体に回しかけ、うちわで扇いで切るように混ぜて手早く冷ます。途中で炒りごまも加える。
- ④すし飯を20等分して握り、わさび、しょうがの酢漬け、ままかりの酢漬けをのせる。
- ⑤器に丸太寿司を盛り付け、レモン、紅しょうが(好みで春菊)を添える。

JA岡山女性部監修

OKOME おこめレシピ RECIPE

ままかりの酢漬け

材料 (20個分)

- ままかり……………20尾
- 塩……………適量
- 酢……………1カップ
- 砂糖……………大さじ4

作り方

- ①ままかりはうろこ、背びれ、頭を落とす。はらわたを取り除いて腹開きにして中骨を取る。
- ②表裏に塩をふり、冷蔵庫で半日から1日ほど寝かせる。
- ③ままかりをなるべく重ならないように並べ、酢、砂糖を合わせた液に1日ほど漬け込む(途中で何回か裏返す)。

Aglogram

あぐろ
グラム

編集後記

コミュニティ誌「あぐろぐ OKAYAMA」発刊

今回のあぐろグラムでは、当組合コミュニティ誌「あぐろぐOKAYAMA」についてご紹介します。

当組合では、夏季と冬季の2回、農業やJAの事業を分かりやすく紹介するコミュニティ誌を発行しています。

2021年夏号では「桃とぶどう」について特集を組み、桃の切り方やぶどうの保存方法、おすすめレシピなどを紹介しています。

農産物直売所へ配布、またホームページでの閲覧もできますので、ぜひご覧ください。



編集担当 住吉 沙弥香